

「農産物を生かすもの／自分たちの食べたいものを」 地元町田生まれの 彩り豊かなジャム屋「凡」

企業組合ワーカーズ・
コレクティブ凡



看板でも町田産ブルーベリーをPR

業を開始した。昨年11月、直売所と工場を兼ねて同市木曽西へ移転。「消費者であるお客様においしく食べてもらえる安心なものづくりをしたい」をモットーに、お客様の立場に立った視点で試行錯誤しながら、スタップ一丸となって商品生産に励んでいる。

看板商品である「ブルーベリーソース」以外にも、イチゴ、甘夏、キウイ、紅玉りんご、にんじん、梅といった生活クラブ生協提携産地や指定産地の国産原料にこだわりの、合成着色料や保存料を一切使用せず、果実本来の新鮮な味と色を楽しむことができる。季節感あふれる彩り豊かなジャムを各種取揃えた直売店は毎日賑わっている。

「ジャムの楽しみ方は十人十色。パンケーキに塗ったり、ヨーグルトに混ぜてもマッチし、絶妙な味を引き出します。一人でも多くのお客様に町田で生まれ育ったジャムを味わっていただき、何度でも直売店に足を運んでもらいたいです」と代表理事は熱く語る。



主婦層に大人気の「ブルーベリーソース」



店内には季節感あふれる彩り豊かなジャムが並ぶ

企業組合ワーカーズ・コレクティブ凡（町田市木曽西、菰田省二代表理事、042-794-4871、<http://www.bon-machida.or.jp/>）

は、昭和59年に町田市旭町にて「生活クラブ生協」組合員である主婦による「ワーカーズ・コレクティブ運動」（働く人が自分たちの望むモノやサービスを事業化する運動）から生まれた。設立当時は生活クラブ生協の受託事業や食を中心に展開していたが、地元で栽培されているブルーベリーに着目、「地産地消」のジャムを主力商品に新事